



TerraExplorer™ for Desktop

3次元ビジュアライゼーションソフトウェア

TerraExplorer for Desktopは、様々な分野の空間情報データを可視化・解析・共有できる、最先端のデスクトップソフトウェアです。

TerraExplorer for Desktopの特徴



あらゆる形式の空間情報データを一元化し、**高速かつ軽快**に表示

対応データ：航空写真・衛星画像・標高データ・点群データ・3Dメッシュ・GIS・CAD・BIM/CIMデータ etc...



3次元に特化した豊富な解析機能で、空間情報データの現状を把握・分析

空間解析機能：計測・断面図解析・浸水域解析・視通解析・差分解析・日影解析 etc...



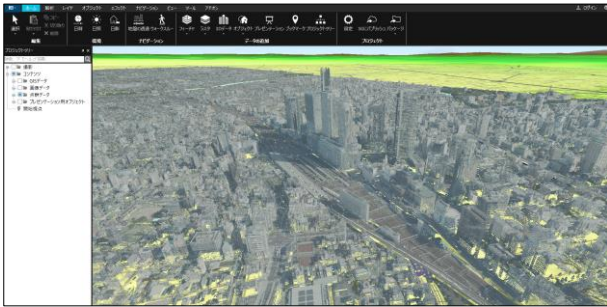
3次元空間情報を関係者間で効果的・円滑に共有

その他便利な機能：**プレゼンテーション機能**・エフェクト・アニメーション機能・パッケージ化機能 etc...



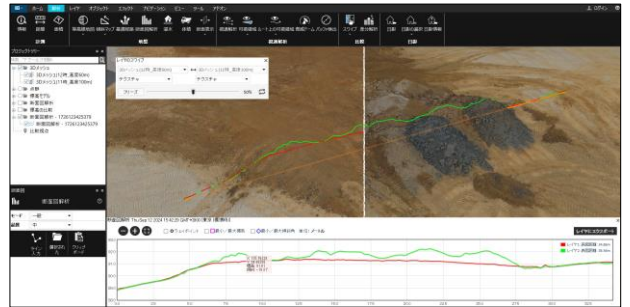
軽快な操作感

大容量のプロジェクトでも高いパフォーマンスを維持するために、専用フォーマットへの変換など、様々なメカニズムを採用しています。数十km²~数千km²にわたる大容量かつ広域な点群などの3Dデータも、お手持ちのPCで軽快に操作することができます。



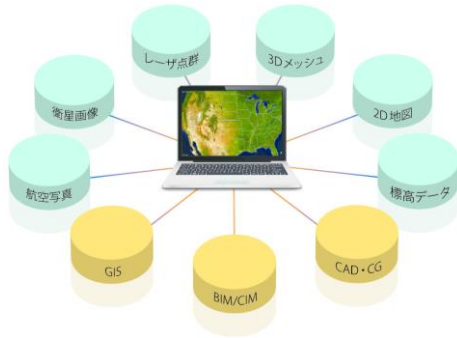
多彩な解析機能

有償ライセンスのPlus/Proはもちろん、無償のViewerにも、簡単な操作で利用できる空間解析ツールを多数搭載しています。また、GISに精通したパソコのナレッジが詰まったアドオン（追加オプション）を導入することで、Plus/Proの機能を拡張することも可能です。



多くの汎用データ形式に対応

3DGISで多く使われるラスターデータ、ベクタデータ、3Dメッシュ、3Dオブジェクト、点群データはもちろん、Web 配信データ、PLATEAU などのオープンデータも簡単に組み込んで表示することが可能です。



空間情報プラットフォーム

帳票や設計図面、写真、動画などの情報も、GISデータに紐づけ連携させることで画面上に呼び出し、閲覧・参照することが可能です。また、3次元空間をナビゲートするプレゼンテーションを作成することで、空間情報をスライド形式で視覚的に確認できます。



こんな方におすすめ



様々な3次元データを一元管理して、大容量のデータもストレスなく動かしたい



測量成果を活用して点検・計測を机上で行い、業務効率化や生産性向上に繋がりたい



工事や都市計画の完成イメージを3Dで把握して、関係者と効果的なコミュニケーションを図りたい



対応フォーマットについて

ラスターデータ (画像/標高データ)		
TIFF	IMG	OGC WMS/WMTS
JPEG	SDE	WCS
GIF	ECW	NTF
BMP	MrSid	HTC
etc...		

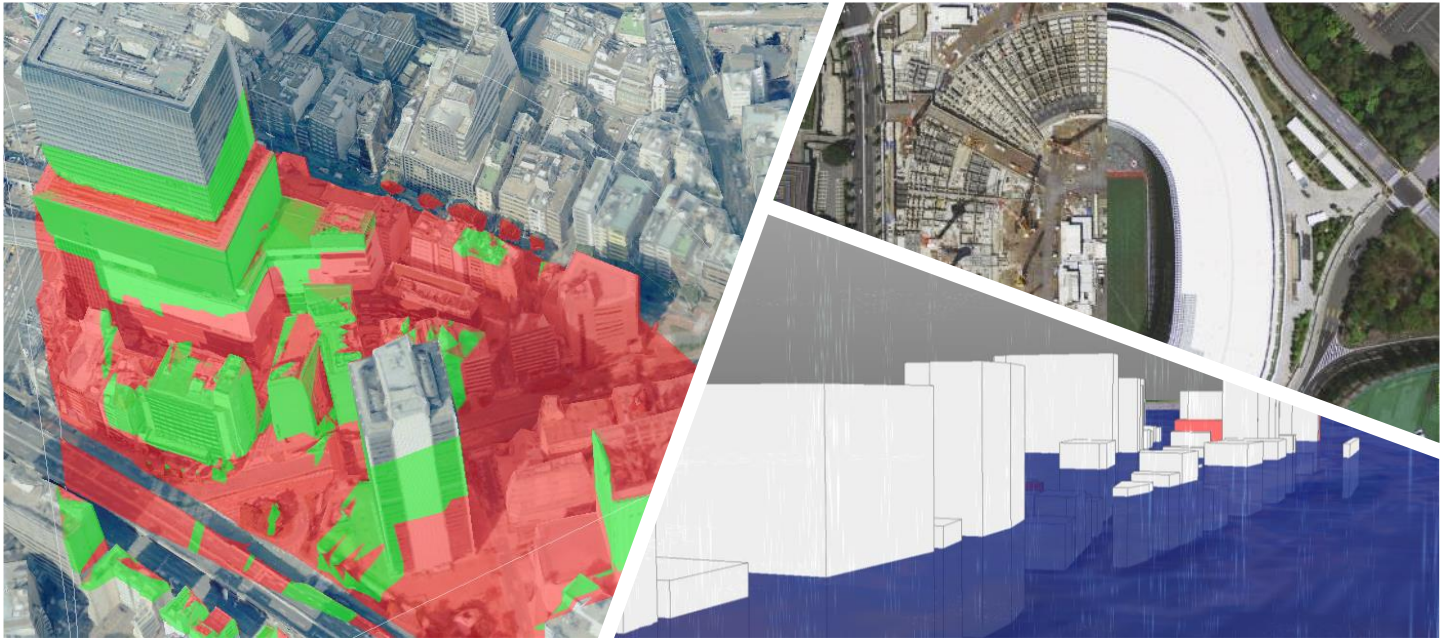
フィーチャ (ベクタデータ)		
Shapefile	SQLite	OGC WFS/WFS-T
GeoPackage	DWG	KML/KMZ
MapInfo File	DXF	ArcGIS Server
GeoJson	DGN	Geodatabase
etc...		

点群データ
LiDAR点群データ (LAS/LAZ)
E57ファイル
点群テキストファイル (TXT/XYZ)
PTSテキストファイル
etc...

3Dメッシュ
OGC 3D Tiles (Cesium, PLATEAU)
OpenScene Graph (OSGB)
LODTreeExport.xml (DAE)
3DML/o3DML
etc...

3Dオブジェクト	
COLLADA (DAE)	OpenFlight (FLT)
OBJ	Direct X (X)
3DS	XPL/XPL2
GLB	
etc...	

BIM/CIM
IFC
FBX (AutoDesk Revit)
DWG
DXF
etc...



3次元に特化したオールインワンの解析機能



情報表示



距離計測



面積計測



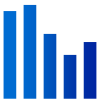
等高線地図



傾斜マップ



最適経路



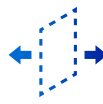
断面図解析



浸水域解析



体積解析



断面表示



視通解析



可視領域



ルート上の可視領域



日影解析



バッファ検出



スワイプ比較



標高差解析



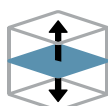
プレゼンテーション

印の付いた解析機能は、有償ライセンス(Plus/Pro)にのみ搭載しています。

Plus/Proの機能を拡張するアドオン(追加オプション)



断面図拡張版



体積面積拡張版



GPS付き画像インポート



GPS付き画像表示



属性一括検索



斜面積計測



水位表示



測線レイヤ作成



IoT水位表示^{※1}



PADMS®-Net連携^{※2}

※1 別途、IoT水位表示サービスの契約が必要です。

※2 別途、PADMS®-Netの契約が必要です。



ライセンスについて



TerraExplorer™ Viewer (テラエクスプローラー・ビューア)

無償ライセンス

TerraExplorer PlusやProで作成したデータを閲覧するための無償ライセンスです。距離や面積の計測、断面表示、視通解析、日影解析などの基本的な解析が行えるほか、地理院地図やPLATEAUなど、外部配信データの表示も可能です。3次元空間情報の納品時に同梱するビューアとして、ご利用いただけます。



TerraExplorer™ Plus (テラエクスプローラー・プラス)

標準ライセンス

3次元空間情報の構築・編集が可能な、標準ライセンスです。浸水域解析や標高差分解析などの高度な解析が行えるほか、データレイヤーの編集やフィーチャ（ポイント・ポリライン・ポリゴン）の作成および属性情報の編集が可能です。また、ラスターや点群データ（一部）を高速表示できる専用フォーマットへ変換する機能を備えています。



TerraExplorer™ Pro (テラエクスプローラー・プロ)

上位ライセンス

TerraExplorer Plusの機能に加えて、3Dモデルを高速表示できる専用フォーマットへ変換する機能や、閲覧用データセットの作成機能を備えています。また、構築したプロジェクトや空間情報データをクラウド（SkylineGlobe Server）へアップロードすることも可能です。

ライセンスごとの機能比較

ライセンス種類	TerraExplorer Viewer	TerraExplorer Plus	TerraExplorer Pro
データ閲覧	○	○	○
基本的な解析	○	○	○
高度な解析	×	○	○
アドオン機能の利用	×	○	○
ラスター・点群データの読み込み	×	○	○
BIM/CIMモデルの読み込み	×	○	○
3Dモデルの読み込み	×	×	○
プロジェクトのパッケージ化	×	×	○
SkylineGlobe Serverへのアップロード	×	×	○



推奨スペック

OS	: Windows® 10/11 – 64bit.
メモリ (RAM)	: 4GB 以上 (最低2GB)
GPU メモリ	: 2GB 以上 (最低1GB)
プロセッサ	: 8コア以上 (最低4コア)
その他	: Microsoft .NET Framework 4.8が必要です。



Skyline社について

Skyline Software Systems, Inc.(スカイライン・ソフトウェア・システムズ社)は、米国に本社を置く、1997年に創立された3次元ビジュアライゼーションソフトウェアのリーディングカンパニーです。開発開始から30年以上にわたり、最先端の3次元地理空間ツールとソリューションをクライアントに提案してきた実績を持ち、世界20か国以上のパートナー代理店により世界展開を拡大しています。

株式会社パスコは、米国 Skyline 社の日本国内販売代理店として日本語版の開発・販売、保守サービスを提供しています。

※「Skyline」「TerraExplorer」「SkylineGlobe Server」は、Skyline Software Systems, Inc. の商標または登録商標です。

※製品内容は、予告なく変更となる場合がございます。

※表紙画像に国土交通省 Project PLATEAU のデータを使用しています。 出典：国土交通省 HP (<https://www.geospatial.jp/ckan/dataset/plateau-13-tokyo-2023>)

株式会社パスコ 新空間情報事業部

〒153-0064

東京都目黒区下目黒1-7-1 パスコ目黒さくらビル

TEL 03-5435-3695

《製品についてのお問い合わせはこちらまで》

<https://www.pasco.co.jp/biz/app-soft/terraexplorer/>

《より詳しい製品情報や無料版のダウンロードは専用ページへ》

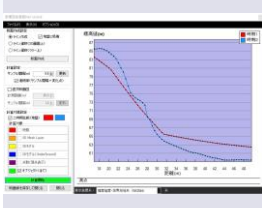
<https://terraverse.jp/product/terraexplorer/>



TerraExplorer™ for Desktop Addon

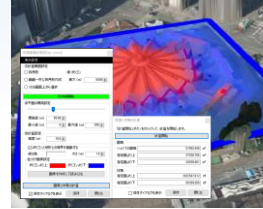
TerraExplorer Plus/Proの機能を拡張する追加オプション

アドオンで追加できる機能のご紹介 《TerraExplorer for Desktop版》



断面図拡張版

縦横断面図の同時作成や帯付断面図を作成できるほか、断面図をCAD形式(DXF)、CSV形式に出力可能です



体積面積拡張版

体積、面積計測に用いる基準面の高さや計算精度の設定が可能なほか、解析結果をShape形式に出力できます



GPS付き画像インポート

GPS付き画像/360度画像をインポートし、サムネイル付きのポイントレイヤを作成できます



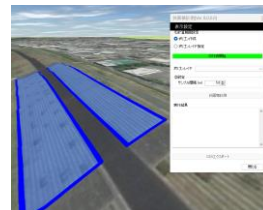
GPS付き画像表示

インポートしたGPS付き画像/360度画像を専用ビューアで表示し、撮影順に連続表示、コマ送り再生できます



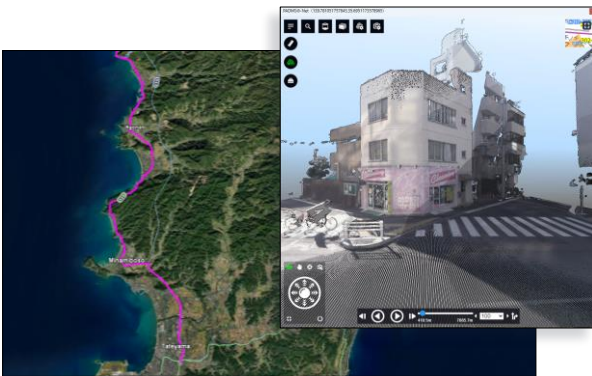
属性一括検索

全てのレイヤを対象に属性検索できるほか、and、orの条件設定や検索した箇所へのクリック移動が可能です



斜面積計測

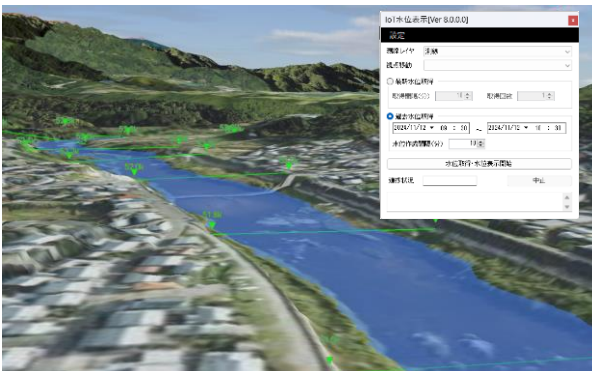
標高を基に、指定レイヤに含まれる全ポリゴンの斜面積を測定し、結果を属性に付与するほか、CSV形式に出力できます



PADMS®-Net連携

- PADMS®-Netと連携
- MMSの走行軌跡を3D画面に強調表示
- クリック地点のPADMS®-Netデータを閲覧・解析
- より詳細な画像・点群データを確認

※別途、PADMS®-Netの契約が必要です。



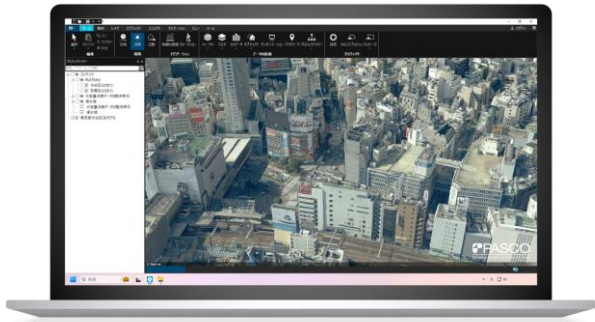
IoT水位表示(リアルタイム水位表示)

- 水防災オープンデータ提供サービスを利用
- リアルタイム/過去の水位情報を一定間隔で取得
- 測線単位で水位を算出し、ポリゴンとして可視化
- リアルタイムの水位を視覚的に素早く確認

※別途、IoT水位表示サービスの契約が必要です。

アプリケーション製品のご紹介

TerraExplorer™ for Desktop



TerraExplorer for Desktopは、Skyline社が提供する3次元ビジュアライゼーションソフトウェアです。

ローカルまたはSkylineGlobe Serverに登録された画像、標高、3Dモデル、CAD、BIM/CIMデータ、点群など、あらゆる空間情報を表示し軽快な操作が行えます。

また、豊富なエフェクトやアニメーション機能、プレゼンテーション機能により、情報共有が容易に行えます。

TerraExplorer for Desktopを使うと

あらゆる形式の空間情報データを重畳表示し、ソフトウェア上で一元管理

大容量かつ広域な点群などの3Dデータを高速表示

3次元に特化した豊富な解析機能で、空間情報データの現状を把握・分析

帳票や設計図面、写真などの2次元情報も、モデル内に紐づけて有効活用

PADMS®-Net



PADMS®-Netは、MMS(Mobile Mapping System)で計測・撮影した膨大なデータの業務活用を支援するクラウドサービスです。

場所にとらわれず、インターネット環境さえあれば、パソコン・タブレット・スマホから点群データ等を閲覧できます。

MMSデータを手軽に扱えることで、日々の業務において、点群データや360度画像の活用が広がります。

PADMS®-Netを使うと

計測機能を活用し、現場業務の削減と業務効率化

必要な範囲の点群を高速DLし、お手持ちの点群処理ソフトで活用

現場⇄事務所での情報共有を3次元データを介すことで、正確性と効率性を上げる

他のWebシステムとAPI連携することで、既存システムを簡単に3次元化

※「PADMS®」は、株式会社パスコの登録商標です。

※「Skyline」「TerraExplorer」「SkylineGlobe Server」は、Skyline Software Systems, Inc. の商標または登録商標です。

※ 製品内容は、予告なく変更となる場合がございます。

※ TerraExplorer for Desktop Addonの利用には、TerraExplorer Plus/Proライセンスが必要です。

株式会社パスコ 新空間情報事業部

〒153-0064

東京都目黒区下目黒1-7-1 パスコ目黒さくらビル

TEL 03-5435-3695

《製品についてのお問い合わせはこちらまで》

<https://www.pasco.co.jp/biz/app-soft/terraexplorer/>

《より詳しい製品情報や無料版のダウンロードは専用ページへ》

<https://terraverse.jp/product/terraexplorer/>

